

ちちぶ・いきあいセミナー

テーマ 家族の病（やまい）と向き合う
～家族療法からみる病気と家族の関係～

日時：令和7年2月8日（土）14:30～16:30（14:00 開場）

会場：秩父宮記念市民会館 けやきフォーラム
（マスクの着用をお願いします）

講師：聖路加国際病院 心療内科医師 山田宇以先生

【このような方におすすめします】

家族の病気にどう向き合えばいいのか分からない
介護の負担を感じている
家族関係が変化して戸惑っている



大切な家族が病気になった時、あなたはどのようにしますか？ 家族の一人が病気になると、家族全体が大きく影響を受けます。また家族のサポートは病気に好影響を与えることもわかってきています。この講座では、家族療法を専門とする医師が、病気と家族の関係性についてわかりやすく解説します。

【講座内容】

家族の病気は、家族全員にどんな影響を与えるのか？
家族の対応が、患者の病気の回復にどうつながるのか？
病気によって変化する家族の役割、関係性、コミュニケーションの特徴
認知症など、長期にわたる介護が必要な場合の家族の心理とその対応



対象：このテーマに興味のある方、どなたでも

申込：先着順 150名（申し込み不要）

参加費：無料

主催：ちちぶ圏域ケア連携会議

問合せ：ちちぶ在宅医療・介護連携相談室（秩父市立病院内）

電話：0494-25-5013（直通）

mail：renkei@chichibucity.hp.jp

